

ようこそまちへ わがま



宮崎恵子さん（大山口新団地 36歳）
と3男の拓郎くん（1歳）

大阪府豊中市から親子3人で大山町に転入し、子育てに、地域活動に奮闘されている宮崎恵子さんにお話を聞きました。

Q・大山町に住むようになったきっかけは何ですか。

宮崎 大阪府で生まれ育ち、兵庫県出身の夫と結婚してから、大阪府豊中市に住んでいました。都会で生活する中、二人の夢は自然があふれた場所で家族がのびのび生活すること。

しかし、仕事を辞めて見知らぬ土地に引っ越すのはリスクもあります。そのため夢見ながらも二人で働き、実現するには10年かかりました。

そして山、海、川があり、

関西の両親のところへ行き来しやすいところを探した結果、鳥取県西伯郡にしようとして決めました。

Iターンでは、郡部の民間賃貸住宅は情報がなく、とりあえず米子市に引っ越すことに。今から4年前のことです。それから西伯郡などの公営住宅に何度も応募し、縁があって（運良く?）、4か月後、大山町に住むことになりました。

Q・町の印象は？

宮崎 空が広いこと。すぐ近くに山があり、海があり混雑することもなく遊べます。雪は思ったより降りませんね。山陰は冬はずっと銀世界だと思っています。人と人の距離が都会に比

べて近いように思います。すれ違うと声をかけてくださったり、保健師さん、栄養士さんもとて身近な存在です。

ただ電車に乗るときは気が入りますね。乗り遅れたら次がいつ来るのやら。10分前には駅にいますよ。

Q・地域の方とどのような交流をされていますか

宮崎 当初は町のことも知らないことばかりで、友達もいなかったのので育児サークルに参加しました。子どもをきっかけにたくさん交流を持つことができました。

転入時1人だった子どもも3人になり、親だけではどうしようもない時があるので、子育て支援制度（ファミリーサポートセンター、病後児保育）を活用させてもらうこともあります。

町の野菜作り教室や、手話サークルにも参加しています。教室では畑作業、ケチャップ作り、豆腐作りなどを教わり、長男と一緒

に参加しています。教室もサークルも子どもが小さいと参加が難しいことが多くあり、中途半端になってしまうと思います。それでもみなさん歓迎してくださり、私も甘えさせてもらっています。

地域との関わりは、子どもの安全にもつながると思います。これから小学校にあがって一人で行動することが増えていくとなおさら、大人の温かい見守りが必要になってくるように思います。子どものことを知ってもらおうことで、危険から救えることがあると思います。

Q・今後の目標は？

宮崎 いつか自分で小さな菜園を持つことが夢です。旬の野菜をふんだんに使った我が家オリジナルレシピで、「我が家の味」を築きたいです。



宮崎さんのご家族。3人の兄弟は野菜が大好き！

今月の税

軽自動車税

納期限は 5月1日（火）です

編集後記

小学校卒業式を取材しました。保護者のみなさんのかまえたカメラの前におじやまして、たくさん写真を撮らせていただきました。数十年前の自分の卒業式のときは違い、壇上が上がらず、保護者の目の前での証書授与というスタイル。真剣な表情を間近に見ることができました。目標を体育館に響く大きな声で発表し、証書を受け取り、保護者に礼をして席に戻るまでの一連の規律正しい動作が、これまでの練習の積み重ねを感じさせました。町内の小学校卒業生は182人。4月からはいよいよ中学生。それぞれの目標に向かって充実した3年間を送ってください。

大山町広報 4月号 No.25
 ◆発行：大山町役場
 ◆編集：企画情報課
 鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地
 TEL 0859-54-3111
 FAX 0859-54-2702
 大山町ホームページ
<http://www.daisen.jp/>
 ◆印刷：有限会社米子プリント社